

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 17
平成30年6月20日(水)発行

日常の集団行動や教育活動が、 子どもの命を守る

～今回の地震災害から～

子どもたちの生命を守るということは、当然に、何よりも優先して行われなければならないことです。学校においては、登下校の交通安全、不審者対応、火災や地震、豪雨などの災害への備え、健康面の注意、学校施設の安全点検整備、校内での子どもの動線を想定した安全確保など、さまざまな観点で子どもたちの生命を脅かす危険性から、子どもたちを守る対策を立てています。

学校で実施する各学期1回の避難訓練についても、発生場所を急きょ変更して実施したり、授業時間だけでなく子どもたちが校庭を含め校内中に散らばっている休憩時間に行ったり、さまざまな場面を想定して訓練を実施し、どのような状況であっても迅速かつ適切な対応が取れるように計画しています。

しかし、残念ながら、どのような対策を立てていても、どのような訓練を重ねていても事件や事故、災害は私たちの想定をはるかに超えたものになって襲ってきているのが現状です。18日(月)朝に起きた地震もそうでしょう。そのような危機に対して、専門家の方がこのように言われていました。それは、日常生活で行っていることを、真摯に整然と取り組むことを積み重ねていくということでした。たとえば、毎日の集団登校では、時間どおりに集合して、班長を先頭に低学年から高学年が1列に並んで歩くこと、校内放送が始まったら静かに耳を傾けること、全校集会などでの体育館への入退場を静かに速やかに

行うこと、そして何より、学校に関する全ての人たちの厚い信頼関係など、良き伝統として守り維持している点を、これからも継続していくことが大切であるということを教えていただきました。

災害等から身を守るためには、訓練や学習も当然に必要なことですが、そのうえで、毎日の生活のなかに定着しているこうした集団生活上の良き習慣や互いの信頼関係を意味づけて、地道に続けていくことが重要であると認識して今後も取り組んでいきたいと思っています。

これからも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ひ とつにみんなでまともろう！
が くりよくと体力をのばそう！
し っかりせいかつしよう！
な かよく友だちとすごそう！
ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子
い っしょうけんめい勉強する子
う んどうが好きな子
え がおでやさしい子
お そうじをがんばる子

かかと(踵)のみだれは、心のみだれ

みなさんの中に、自分のクツのかかとをつぶして、はいている人はいませんか？ 先生は朝の登校で、気になる人がいるような気がしています。クツを作っているメーカーは、「あしへんに重い」と書く字のごとく、かかと(踵)の部分に一番力を入れているそうです。重要な足のかかとを守るため、かかとの部分には固くて軽い材料を使っています。その部分をつぶして歩くというのは、クツをきちんとはくのがめんどくさいという心のみだれの表れなのです。

ところで、一流のスポーツ選手は、自分の手足となる道具を大切にします。自分のプレーを支えているのは道具であることを知りつくしているからです。重要なかかとの部分を大事にするため、必ずクツペラを使っている選手もいます。大リーガーのイチロー選手もそうです。彼は、より早く走るためにメーカーに非常に軽いクツを注文します。技術者が自分のために苦労して作ってくれたクツだから、彼は試合後もロッカールームで道具の手入れをていねいに毎回行っているそうです。

かかとを大事にするという小さなことですが、そういうところにその人の心が表れます。人は心が変われば、態度が変わります。そして行動が変わり、よい習慣となります。小さなことやちょっとしたことを大事にする心を大切に



みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール39 全員で廊下を歩く時には、おしゃべりしない

クラス全員で廊下を歩くときは、前を向いて、両手をからだのわきにつけて、整然(せいぜん)と歩こう。

●学校で、子ども達がきびきびとした態度で規律正しく行動するのを見るのは、とてもいいものだ。きみたちも、実際にやってみると、それが気持ちのいいものだとわかるだろう。